

2016年10月3日

熊本市 市長
大西 一史様

日本イコモス国内委員会
委員長 西村 幸夫



熊本市役所花畑町別館の活用に関する要望書

熊本地震での犠牲者に心よりお悔やみ申し上げます。さらに多数の建造物、構築物等をはじめ貴重な文化財までが損壊し、心を痛めるとともに日本イコモス国内委員会では、被災した文化財の修復や保全に専門家を派遣し全力で尽力する所存です。

本会は、国際記念物遺跡会議（ICOMOS/ International Council on Monuments and Sites）の日本支部で、文化遺産保護に関わる国際的な非政府組織（NGO）です。2012年12月末現在、イコモスの参加国は130カ国以上を数え、国内委員会が各国で組織され、文化遺産保存分野の第一線の専門家や専門団体が様々な活動を行っています。1972年のユネスコ総会での世界遺産条約採択後は、イコモスはユネスコをはじめとする国際機関と密接な関係を保ちながら、世界文化遺産の保護・保存、そして価値の高揚のための重要な役割を担ってきました。

熊本地震後の日本イコモスの緊急調査の際、熊本市花畑町別館が「倒壊の恐れあり」として閉鎖されていることを確認致しました。外部からの調査では、昭和25年に増築された4階部分に損傷がみられるものの、オリジナルの3階以下にはクラックすら発見できず健全な状況であると判断致しております。熊本市が平成14年に実施した耐震診断では、構造図が存在しないという前提で実施され危険と判断されていますが、構造図は東海大学に所蔵されており再度の正確な診断を経て耐震性能を判断されるべきであります。

今後は復興に多大な人員や予算だけでなく、事務スペースも必要と思われますが、戦災と熊本地震をくぐりぬけた貴重な建築を、例えば熊本城等の復興に必要な市の事務所として活用し、使い続けていくことはできないのでしょうか。

この熊本市花畑町別館は、1936年（昭和11年）に熊本貯金局として逓信省技士山田守の設計で建てられた名建築です。すでに日本建築学会より保存に関する要望書（平成27年12月4日）と見解書が提出されているように、以下のような価値のある非常に貴重な文化遺産で、この熊本市花畑町別館を活用することを要望致します。

1. 熊本の歴史を物語る貴重な近代建築

熊本市花畑町別館（旧熊本貯金局）は、歩兵二十三連隊跡地にあり、第二次大戦中の熊本大空襲にも残った熊本の歴史を語る上で、唯一現存する近代建築です。そして、熊本貯金局は、当時唯一の九州での支店で、熊本が九州の中心であったこと今に伝えます。

2. 熊本の近代化の象徴となったデザインと技術

熊本市花畑町別館（旧熊本貯金局）は、熊本の最初期のモダンムーブメントの建築で、外観の直線的なデザインと鉄筋コンクリート構造だけでなく、中央暖房、換気ダクト、熊本で現存最古のエレベーター、事務室と原簿室を結ぶ原簿用ベルトコンベア、上下階を結

ぶメールシュータ等々、当時の最新のデザインと技術で構築されました。また、DOCOMOMO Jpan の選定建築のひとつで文化的価値が高く評価されている。

3. 環境に配慮した事務空間

熊本市花畑町別館の竣工時はまだ蛍光灯や冷房のない時代で、自然採光と自然換気が可能な建築です。そのため、現代にも十分利用できる環境共生の骨格を有しており、若干の改修を加えることで、業務スペースとして活用が可能と考えられます。

4. 建築家山田守（1894-1966）による設計

くまもと森都総合病院（旧熊本通信病院）とともに熊本に残る山田守の作品で、モダンムーブメントらしい直線的な表現、印象的な正方形の窓とともに端部の円弧のデザインが、山田守らしい建築です。山田守はパラボラ型アーチが並んだ東京中央電信局（1925）等の通信建築を手がけた後、1949年山田守建築事務所を設立、東海大学の設立にかかわり教授として学生を指導しながら、東京厚生年金病院（1953）で芸術選奨、大阪厚生年金病院（1954）で日本建築学会作品賞、1964年には藍綬褒章、勲三等朝日中綬章を拝受した日本を代表する建築家のひとりです。



九州日日新聞 昭和11年3月28日

以上の多様な価値から、日本の近現代建築史上欠くことのできない「花畑町別館」は、世界にも誇れる貴重な文化遺産なのだと私たちは考えます。本会は、10月23日に開催されますシンポジウムを後援致します。このシンポジウムでは学識経験者による解説だけでなく学生達が作成した再生案も提案される予定です。それらも勘案され、機知に満ちた判断でこの「花畑町別館」の活用の要望を是非ご検討いただきますようお願いする次第です。他方、再生のためにも必要となる「花畑町別館」の詳細な調査により、この建築のオーセンティシティの検証と80年前の建築技術等を、記録として後世に伝えることも非常に重要で、調査を早期に実施されることを進言致します。

尚、この建築の再生と活用に関して、学術的・技術的な協力を可能な限りさせていただく所存です。

（参考資料等）

旧熊本貯金支局の建築に関する研究 石橋雅子 伊藤重剛 日本建築学会九州支部研究報告第54号 2015年3月

旧熊本貯金支局（熊本市役所花畑町別館）に関する見解 平成27年12月4日 日本建築学会九州支部